

# 法学入門

中央常寿 = 石川博康 編著  
内海博俊 = 興津征雄 = 齋藤哲志 = 笹倉宏紀 = 松元暢子 著

2021年4月発売 / 272頁 / 定価1870円(税込)  
四六判 / 並製



編集  
担当者  
から

情報化社会、グローバル社会などと言われるように、わたしたちの生きる社会の発展のスピードは従前に比べて加速しており、人々の価値観もより多様化しています。こうした中で法は、複雑化した社会を支え、ときにリードしつつ、様々な姿を見せています。本書は、まさに社会のいまを踏まえながら、法を学ぶために編まれた手引書です。

本書では、法に共通する基本的な考えとともに、わたしたちが接する社会の場面ごとにどのように法が関わってくるのかを、わかりやすく紹介しています。その上で、法の来歴をたどって将来を見通す視点を得ることができるようになっていきます。

また、本書は「入門」と題していますが、初学者だけでなく、ある程度法を学んだ方にも興味深く読んでいただけたらと思います。

なお、書籍編集部のnoteでは、著者の先生方からいただいたメッセージを掲載しています。ぜひそちらもご覧ください(下記QRコードの書籍ページからアクセス! )。(IOF)

Index



多角に法を見つ、その底流にある考え方を知ることができます。

## 第1章 法とは何か

- 1 法とは何か
- 2 システムとしての法
- 3 法の解釈と適用

## 第2章 法の基本

——憲法・民法・刑法・手続法

- 1 法と手続
- 2 民法
- 3 犯罪と法
- 4 憲法

## 第3章 法と社会——領域からみる

- 1 ライフサイクルをつらぬく法

## 2 人々の暮らしと法

- 3 組織に関する法
- 4 市場にかかわる法
- 5 公益実現のための法
- 6 情報にまつわる法
- 7 グローバル社会の法

## 第4章 法とは何か、再び

- 1 はじめに
- 2 近代法の淵源
- 3 近代法の確立
- 4 近代法の修正
- 5 近代法の射程

※小社ウェブサイトの本書のページもご覧ください。

